早稲田大学整数論セミナーの予定
(2026年度 第13回)

日時： 2026 年 12 月 4 日（金） 16:30〜18:00

場所： 〒 169-8555　東京都新宿区大久保 3-4-1
早稲田大学西早稲田キャンパス
52 号館 8 階 812 室 (52 - 812)
対面と Zoom ミーティングによるハイブリッド開催

講演者： 坂内健一 氏 （慶應義塾大学）

タイトル： 数論幾何的視点からの確率過程入門

アブストラクト： 代数多様体における点の有理性の扱いは数論幾何学の基盤をなすものであり、Weil の『Foundations』で体系化されました。そこでは、絶対的な universal domain を一つ固定して理論を構築する点に特徴があります。その後、Grothendieck により圏論的な視点が導入され、理論が相対化されると同時に、多様体の族が扱いやすくなるなど、飛躍的な発展を遂げました。確率論において標本空間 Ω を一つ固定する古典的な定式化は、Weil の立場に対応すると考えられます。本講演では、最近の確率圏論の進展をこの数論幾何的視点から解釈し、連続時間確率過程の構成について解説します。本講演は萩原啓氏との共同研究に基づきます。